



要望書第 38 号 様

令和5年度森林・林業施策に関する要望書

令和4年11月18日

栗東市内森林組合連絡協議会

令和5年度予算要望

新型コロナウイルスの世界的規模での流行拡大により消費動向は冷え込み、緊急経済対策が種々措置されたものの、経済は予断を許さない深刻な状況が続いています。このような中、岸田新政権は引き続き最優先課題として「新型コロナウイルス拡大防止策と経済の再生」を位置付けています。

さて、森林、林業については、令和元年度から「森林経営管理制度」の運用が開始され、森林環境譲与税の市町村への交付が始まりました。

貴市におかれましては、民有林の境界明確化事業にとりくまれているところであります。次年度以降も年次計画的な境界明確化作業の推進をよろしくお願い申し上げます。申すまでもなく我が国の林業は長年不振を極めております。これを打開すべく、新しい取組（森林認証、J-クレジット等）を通じて林業の成長産業化を図り次世代が夢と希望が持てるべく、先進的、かつ持続可能な森林経営を目指しております。市当局におかれましてはご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

以下、各森林組合から個別に要望いたしますので、令和5年度の前算措置について特段の配慮を賜りますようお願いいたします。

【要望事項】

(1) 滋賀南部森林組合

森林組合を巡る情勢

県内の7森林組合はいずれも組織体制が脆弱で、財政基盤が弱い森林組合が多く、単独組合の規模では運営の見通しが立たない状況にあります。このため、県森林組合連合会の主導のもと、これまで取り組んできた県内森林組合系統内での議論を踏まえ、令和6年度に1県1組合合併による新組織の立ち上げを目指し、本年9月以降「県内森林組合広域合併検討会」で大詰めの協議を行っている状況にあります。

1. 森林整備に関する要望

1) 主伐、再造林の推進

金勝地域の森林は、戦後造林され本格的な伐採期を迎えています。森林の適正な整備・保全、木材生産と災害防止さらにはCO₂の吸収等森林の持つ多面的機能の持続的な発揮に繋げるため、国の施策に基づき主伐・再造林に取り組み森林の若返りを図って参ります。つきましては、主伐・再造林の円滑な推進にご支援をお願いいたします。

国・県補助事業：・森林環境保全直接支援事業（人工造林、下刈り、鳥獣害防止対策等）

・花粉発生源対策促進事業（花粉発生源植替え等）

2) 森林環境譲与税の活用促進について

森林環境譲与税については、現在、金勝生産森林組合所有林を中心に境界明確化に取り組まれています。今後は、併せて、個人所有林の意向調査・境界明確化を推進するとともに、森林整備や公共施設での木材利用等、本来の目的に積極的に活用されるよう要望いたします。

3) 栗東市農林業振興事業（造林育林推進事業）の充実・強化

間伐事業については、現在、主として生産森林組合所有林が施工されていますが、今後は小規模な個人所有林の施工が多くなります。小規模な施工地となると作業効率が悪く、国・県の補助標準単価では対応できない施工地が出てきます。

つきましては、当該事業の円滑な推進を図るため、市の補助率及び予算額の拡充を要望いたします。（補助率）10%→15%

4) 森林・林業職員の育成

滋賀県林業普及センターにおいて開催されている「滋賀もりづくりアカデミー」の市町職員コースに継続的に参加いただき、森林・林業を支える職員の育成強化を要望します。

（研修内容）8日間 森林の多面的機能、森林経営管理制度、労働安全 等

2. 指定管理施設（こんぜの里）に関する要望

当森林組合は、「こんぜの里」を金勝地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の拠点並びに広域観光の拠点と位置づけ「道の駅」及び「バンガロー村」の2施設を本年度から3年間引き続いて指定管理を受けております。両施設ともコロナ禍において来客数は減少傾向にありますが、「バンガロー村」は県内外の利用者から根強い人気スポットとなっています。また、現在旧グランドゴルフ場に民間会社とタイアップしてオートキャンプ場の整備を進めており、年明けの操業を予定しています。オープンすれば、「こんぜの里」の活性化に寄与するものと考えております。

そのような中で、両施設は整備後30年を経過し、施設・設備の老朽化が進み、改修・更新の必要に迫られております。つきましては緊急性を要する次の事項の改修等予算措置をよろしくお願いいたします。

- | | |
|---|--------------------|
| 1) 道の駅 | <u>2,500,000円</u> |
| ① 直売所、食堂及び厨房の照明をLED照明に交換（照度不足で店内が暗い） | （700,000円） |
| ② 外壁の修繕及び出入口部階段に手すりの新設（外壁が腐食している
階段昇降の安全確保） | （1,300,000円） |
| ③ ガス台の取替（老朽化により腐食が進んでいる） | （500,000円） |
| 2) バンガロー村 | <u>26,250,000円</u> |
| ① 洋式トイレのウォシュレット化（各棟の洋式便座にウォシュレットの設置（9棟）） | （900,000円） |
| ② 7管理棟デッキの床板等危険個所の修繕（デッキの老朽化が進み危険な状態にある） | （1,500,000円） |
| ③ 管理棟正面外壁（しぶき板）張替（しぶき板が剥がれて雨が差し込む） | （750,000円） |
| ④ キャンプ場の再整備（長年休止状態にあるためトイレ、シャワー室、コテージ3棟、テントサイト7台、各施設接続道路等の抜本的な再整備が必要） | （23,100,000円） |

（2）金勝生産森林組合

①森林管理マニュアルについて

永年の懸案事項でありました森林管理マニュアルを令和2年度に作製しました。事業委託先である滋賀県南部森林組合との協同の下、SGEC森林認証、J

-クレジットの取組を勘案し、適正な森林整備をしてまいります。

組合所有の森林を含め当地域は栗東市の癒しのスポットとして今後とも市民の皆様とその景観を楽しんでいただくべく、地域の環境整備を進めていただきたくお願い申し上げます。

② J-クレジットの取組について

J-クレジット制度は、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。排出ガスゼロ宣言は今や国をあげての喫緊の課題であります。金勝生産森林組合では、県のご指導により国の補助金を受けて、平成29年3月に151tを創出、発行できる事ができました。平成30年12月に追加認証審査を受け、プラス520t、一昨年さらに451t取得いたしました。合計1,112tを取得、現在、日本電気硝子㈱を始め、約23法人、団体様にご理解をいただき現時点での販売総数は880tを販売することができ、新しいビジネスモデルとして確立することができました。今年さらに541tの追加申請を手続き中でありま。合計1,600t余りで現行プロジェクトは終わりとなりますが、引き続き延長計画を目論んでおります。今後は地元企業を始め、道の駅こんぜの里、フォレストアドベンチャー来客者等に、環境貢献としてクレジットの活用を提案して、参ります。行政におかれましても各種イベントの開催にクレジットの活用を検討していただきたく、ご支援をお願いいたします。

③ 認証材の流通と利用の拡大

金勝生産森林組合では平成23年度に滋賀県で初めてのSGEC森林認証を取得し、令和2年8月に3期の更新審査を受け5年間延長が認められました。この間、認証材として毎年甲賀市場へ出荷しており、市場では他の一般材と分別され、ユーザーから一定の評価を受けるようになってまいりました。過去には新国立競技場建設材として約80m³出荷いたしました。また、JA金勝支店の新築用材として注文を受け、竣工しております。今後は公共建物において、地元産の認証材を使用していただきたく、お願い申し上げます。

④ 栗東きょうどう夢の森プロジェクトの推進について

金勝生産森林組合では平成21年から環境に優しい低炭素構築社会を目指した、栗東商工会とのパートナー協定も令和2年11月にさらに3年間の延長協定を結ばせていただき、あらためて各企業の協賛に感謝を申し上げるところでございます。引き続き、協賛企業のご理解を得ながら森林整備を進めてまいります。更なるご支援をいただきたくお願いいたします。

⑤ 令和の森開設について

令和元年11月10日に金勝山で行われました市民秋祭りの会場において県知事より県下第1号の「令和の森認定書」を頂きました。これは令和への改元を

記念し新たな森林づくりに取組んでいく県の政策であります。場所は岩坪 531-1 で約30アールを昨年11月に植樹式を市長立会の下に行いました。今後は手入れ刈り等、養育管理が必要としますが、当活動の主旨、目的に行政の支援をお願いいたします。

⑥企業との連携による森林整備について

東京に本社をおく、カルビー㈱との森林整備、保全協定を今年度結びました。カルビー㈱湖南工場はグループ内の製造現場において、地下水の利用を通じて水源地域内にある森林の恩恵を受けていることから森林整備に取り組むことで持続可能な森林水源を目指すものであります。さらに来年度は同じく東京に本社を置く三機工業㈱との森林整備協定を結ぶ予定であります。市当局におかれましては主旨を尊重され今後ともご支援をお願いいたします。

⑦「やまの健康」推進プロジェクトについて

県の施策である「やまの健康」推進プロジェクトは農山村の魅力的な地域資源を活用したモノ、サービスが皆さんの暮らしと結びつくことで、琵琶湖を取り巻く森林、農地を適切に管理すると共に地域の豊かな生活を実現しようとするプロジェクトで、市観光協会が主体となり、昨年、当地がモデル地区に選定されました。コロナ禍で十分な活動ができておりませんが、今後、当組合の所有林を含め金勝地区の街、集落の将来ビジョンが描かれることになり、この実現に向けて協力して参る所存であります。ご支援よろしくをお願いいたします。

⑧間伐材の未利用材の利用促進について

技術の進展により新しい集成材としてCLTの開発がなされ、その優れた性能により全国的にその利用促進がなされようとしています。国産材の自給率改善と、低迷している森林整備が図れることになり大変喜ばしいことでもあります。当市におきましても民間企業による社屋建設がなされております。今後は公共建築物におけるCLT利用につきまして、ぜひご採用いただきたくお願いいたします。

⑨森林活用と地域活性化について

フォレストアドベンチャーが金勝生産森林組合所有林内で平成29年7月にオープンし、5年経過いたしました。さらに幼児向けの新たなコースが建設され、目標の集客数は達成されているようです。今年度は近くにマウンティングバイクコースを計画されコロナウイルスの影響があるものの更なる集客を目標とされます。また、森の未来館の指定管理者として、積極的な経営を目指されています。当施設の活性化は、森遊館を初め多くの既存施設への来客の増加、雇用の場の確保など地域発展に寄与するものと考えております。さらに、一段のご理解ご支援をいただきますようお願いいたします。

⑩切捨て間伐及び枝打等の推進協力について

森林・林業再生プランが施工され11年、補助制度が大きく変わり搬出間伐に

特化され、しかも林班単位での集約化が義務付けられており、従前の小規模単位での森林整備には補助制度がないことから、小規模森林は放置林化している。従来の育林事業への支援の他、切捨て間伐及び枝打の推進に栗東市独自の支援をおねがいします。

⑪ 獣害防止対策について

10年前より獣害対策にはいろいろ対策を講じて頂いておりますが、まだまだ被害は増加しております。被害防止対策と併せて根本的に鹿や猪の頭数を減らす対策を県等関係機関と協力して早急に実施してください。

⑫ 放置林防止対策境界明確化事業の推進について

放置林防止対策境界明確化事業による境界確認は、森林施業を行う上において大変重要なことであり、平成24年度観音寺地区より実施し平成26年度からは成谷地区で実施令和2年度より東坂地区で完了し、今年度より桂谷地区で実施を予定しております。昨年度より森林譲与税の創設に伴い、その業務が県より栗東市へ移管されました。引き続き栗東市として、その円滑な事務処理及び財政支援をお願いします。

⑬ なら枯れの被害について

栗東市にも多くなってまいりましたが、被害木は2年目に簡単に折れて落下するため林道沿いにおいては、人身事故につながる危険度が高くその対策をお願いします。

⑭ 桜のテングス病枝除去について

桜のテングス病枝除去につきましては毎年、当組合役員において実施しておりますが、高齢化による枯れ死と周辺の植生林の成長に伴い衰退し、特に林道沿いの桜の木については伐倒せざるを得ない現状であります。ご指示おねがいたします。

(3) 蜂屋生産森林組合

① 大谷山の環境整備について

担い手の高齢化が進み、間伐、枝打ちなど専門業者に委託せざるを得ない傾向にありますので、組合経営の負担軽減から専門業者に委託する一部補助の増額(法人税見合い)をお願いいたします。

② 大谷山の森林境界明確化推進の支援について

大谷山の「昭和56年度入会林野等高度利用促進対策事業調査測量図」を当組合で所有しています。将来に向かって適切な保全管理を実施するため、森林境界を明確化する補助事業について満額承認を要望します。

栗東市 市長

竹 村 健 様

栗東市議会 議長

田 中 英 樹 様

令和4年11月18日

栗東市内森林組合連絡協議会

滋賀南部森林組合



代表理事 組合長

相 井 忠 良



金勝生産森林組合

理事 組合長

澤 幸 司



蜂屋生産森林組合

理事 組合長

高 井 利 和



こんぜの里



滋賀日産
リーフの森

ログワールド

金勝川

キャンプ場
こんぜの里バンガロー村

栗東信楽線

道の駅 こんぜ
の里りっとう

キャンプ場

水直公園

栗東市立森林
体験交流センター